



日和坂

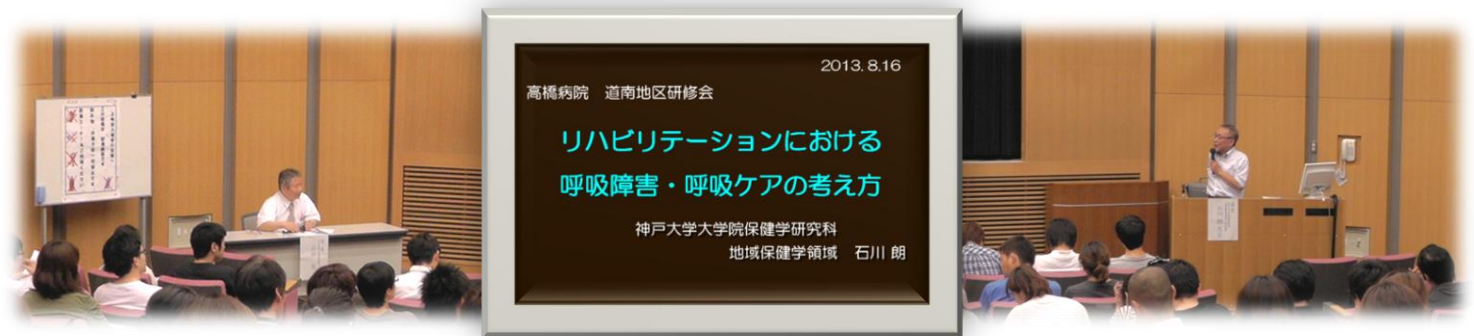
ひよりざか

vol. 41
2013. 10

第2回函館リハビリテーション講演会 開催 リハビリテーション科

帰省にて旧交を深め合う時節の折、平成25年8月16日に、第2回函館リハビリテーション講演会を函館市中央図書館の視聴覚ホールにて開催致しました。

この講演会は当院が主催しているもので、市内の医療施設で活躍するセラピストを中心に、看護師や管理栄養士など多職種の方々に参加していただいております。2回目を迎えた今回はあいにくの雨降りの中100名を超える参加がありました。



今回は、神戸大学大学院 保健学研究科 地域保健学領域 教授 石川朗氏を招き、“リハビリテーションにおける呼吸障害・呼吸ケアの考え方”と題してご講演をいただきました。

講演では、呼吸リハビリテーションについての概論から始まり、理学療法効果のエビデンスがある慢性閉塞性肺障害（COPD）について、疫学を通して予防の重要性を説かれました。また、近年、定義づけられた医療・介護関連肺炎（NHCAP）についての予防策に関しては、他施設での取り組みを紹介していただいた後、ABCDEバンドルを参考にした予防策についてお話しをいただきました。ここでは、多職種による介入の必要性について力説されていました。

最後に氏の研究テーマでもある低酸素のスクリーニングの方法を紹介していただき、在宅でのスクリーニングの重要性も説かれました。

90分の講演は多義にわたり非常に興味深く、出席者からは一同に賛同を得るものでした。



そして次回 社会医療法人高橋病院主催 第3回函館リハビリテーション講演会が早くも予定されております。今回の講演が直接医療にかかわっているスタッフ向けの講演でしたが、次回は一般の方も参加できる講演となっております。



「HALによる機能改善治療最前線」 講師 筑波大学大学院 山海嘉之 教授

【日 時】 平成25年11月15日（金） 18:30～20:00（開場18:00）

【会 場】 函館国際ホテル2F（春陽の間）

住所：函館市大手町5-10 TEL.0138-23-5151（代表）

【参 加 費】 無料

【定 員】 300名

ロボットスーツHAL (Hybrid Assistive Limb) は、下半身に運動障害がある方や、脚力が弱くなった方の身体機能を改善・補助・拡張し、歩くことのすばらしさを取り戻していただくことを願って誕生した世界初のサイborg型自立支援ロボットです

ご存知！夏の風物詩 ほうらいフェスタ2013

8月25日(日)に法人全体の夏祭り企画『ほうらいフェスタ2013』を開催致しました。今年も例年通り、日本テレビ系列24時間テレビのチャリティとタイアップし、催し物はダンスサークルの発表や空手演武、カラオケや盆踊り大会、露店は焼きそば・焼き鳥・かき氷・ゲームコーナーなど盛りだくさんの内容で行われ、利用者様・近隣住民の皆様が大いに楽しんでいただけたと思います。

法人職員のボランティアスタッフ総勢175名と外部ボランティアの皆様、ご協賛業者様に支えられ、今年も大きな事故もなく無事に終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。来年もよりいっそう盛り上げ、地域に根ざしたイベントにしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



また、総合受付に設置した募金箱には、入りきらない程の募金が次々よせられました。

「今年はこんなに貯まったのよ～」と笑顔で持ってこられる方や、小さいお子さんと一緒にぎっしり詰まったビンを持って募金箱を探していた方もいらっしゃいました。募金箱コーナーが少しわかりづらかったですね、ゴメンナサイ。でも、皆さんの想いがこうして集まってきて、今年もこうした取り組みに参加できたことをうれしく感じました。

後日スタッフが責任を持って24時間テレビチャリティ募金に振り込みをして参りました。

ご協力ありがとうございました。



これもリハビリだったんだ！

作業療法士 安田 真悟

はじめに

「リハビリ」という言葉を聞いたことはあっても、言葉の意味も知っている人はあまりいないと思います。「リハビリ」という言葉には“身体や心の機能が失われた状態から回復・改善させ、もとどおりの状態に戻す”という意味が込められています。また、リハビリとひとことで言っても「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」と、専門的な分野に分かれています。

作業療法を担当する作業療法士という言葉についても「聞いたことがない」「どんな仕事なのかわからない」という方が多いと思います。患者様やご家族の方からも「看護師さん」「介護の方」と呼ばれることも少なくありません。

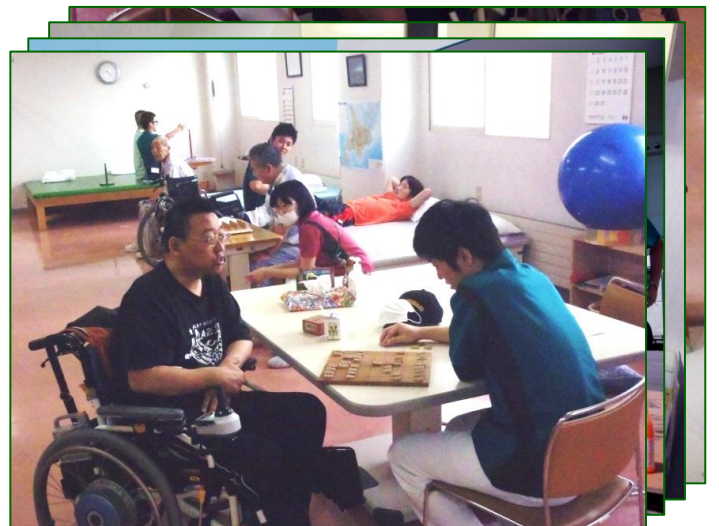
そこで今回は私たち作業療法士が病院でどんなことをしているのかをわかりやすく説明したいと思います。

●作業療法士とは

まず、“作業”という言葉の意味です。「作業って何？」と言われると何か難しい意味を考えてしまうと思いますが、作業とは“普段行っている日常生活での活動すべてのこと”を指します。

たとえば「食事をする」「髪を梳かす」「顔を洗う」「洗濯をする」「掃除をする」「車を運転する」「お風呂に入る」など、これらの活動全てのことが作業と言う意味に当てはまります。

作業療法士とは、病気や怪我などが原因で、普段何気なく行っている“作業”が出来なくなってしまった方々に対してリハビリを行う職業のことをいいます。



【高橋病院での作業療法士の取り組み・役割】

当院では主に「脳卒中」「骨折」「さまざまな病気による体力低下」などで、いつも自分で行っていたことが出来なくなり、それが原因で自信を失ってしまったり、何もする気が起きなくなってしまうと、生活に何かしらの影響が出てしまっている患者様に対してリハビリを行っています。

リハビリの内容としては、手や腕の運動を行うことはもちろんですが、着替え・トイレの練習・調理訓練・園芸など、家事や趣味活動を通してリハビリを行います。一見遊んでいるように見える折り紙や将棋など、患者様と一緒に馴染み深い作業を通して、身体の動きだけでなく、心も元気にしながら、生活が豊かになるための手助けをすることが作業療法士の仕事だと私たちは考えています。

リハビリのことで気になることがあれば、いつでも作業療法士・理学療法士・言語聴覚士に気軽に尋ねて頂ければ幸いです。

パンフレットが新しく出来上がりました



≪統一感を持たせ、事業所によって
色分けしたパンフレット

この度、病院案内のパンフレットや、法人事業所のパンフレットが新しくなりました。

ホームページ同様に写真を多く配置し、見やすくわかりやすいデザインへと大幅に変更致しています。

病院の受付前や、2階リハビリ室の前に並べてありますので、ぜひ手にとってご覧になってください。



編集部からのお知らせ

- 次回の広報誌「日和坂」は来年1月発行予定です。
- 病院横の日和坂で函館市要請の道路工事が行われております。工事が終わる来年1月頃までは日和坂側の駐車場への出入りでご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。
- 広報誌「日和坂」につきましてご不明な点などございましたらお気軽にお問合せ下さい。
0138-23-7223 佐々木(総務管理課)まで

高橋病院の基本理念

地域住民に愛される、信頼される病院

高橋病院の方針

- 一、生活を支えるリハビリテーション医療を提供いたします。
- 一、チームワークのとれた魅力ある職場をつくります。
- 一、思いやりとおもてなしの心をもったサービスを提供いたします。
- 一、地域に根ざした連携文化を育みます。



患者様の権利

1. 適切な医療とケアを受ける権利
2. 人格を尊重される権利
3. プライバシーを尊重される権利
4. 医療上の情報、説明を受ける権利
5. 自己決定の権利
6. セカンドオピニオンを求める権利